

Ⅱ 進学コースへの入学

1. 入学するのに困難な理由 (表15)

進学コースに入学するのに困難な理由として、「進学コースが少なく入りにくい」47.2%、「入試に英語や数学があるので試験がむずかしかった」38.1%となっている。

また、現在准看護婦(士)として勤務している人を対象に同様の質問肢で調査を行った結果「入試科目に英語や数学がある」と答えている割合が最も高いことからわかるように、「英語と数学」は進学への大きな難関となっている。しかし「その他」のフリーアンサーのなかには「特に困難はなかった」と答えている学生が47人いた。

2. 進学することへの賛同

進学コースへの入学を志望したとき、両親や進路指導を担当した教員は賛成したか否かをみると、「おおいに賛成してくれた」と回答している割合がどの場合も最も多い(表16)。

またそのときの相談相手は、「親」という回答が57.6%と最も多い。次いで高等学校衛生看護科を含

表15 入学するのに困難な理由 (複数回答)

進学コースが少なく入りにくい	630(47.2)
入学に年齢制限がある	22(1.6)
男性が入学できる学校が少ない	40(3.0)
学校が遠いため通学できない	177(13.2)
家庭の事情で困難	84(6.3)
経済的に困難	235(17.6)
進学するには職場を退職しなければならなかった	97(7.3)
人手不足のため進学すると職場の仲間に迷惑がかかる	145(10.9)
職場の管理者に進学についての理解が乏しかった	106(7.9)
職場の仲間に進学についての理解が乏しかった	53(4.0)
なかなか職場をやめさせてもらえないので進学できなかった	46(3.4)
入試科目に英語や数学があるので試験がむずかしかった	509(38.1)
その他	88(6.6)
回答者数	1,336(100.0)

表16 進学することへの賛同

	おおいに賛成	まあ賛成	やや反対	強く反対	無回答	合計
父 親	810(60.6)	329(24.6)	61(4.6)	10(0.7)	126(9.4)	1,336(100.0)
母 親	957(71.6)	281(21.0)	49(3.7)	9(0.7)	40(3.0)	1,336(100.0)
先 生	1,016(76.0)	226(16.9)	18(1.3)	7(0.5)	69(5.2)	1,336(100.0)

表17 進学することへの相談相手（複数回答）

出身准看護婦学校の先生	649(48.6)
親	770(57.6)
職場の婦長	160(12.0)
職場の医師・事務長などの管理者	112(8.4)
看護協会	0(—)
その他	202(15.1)
誰にも相談しなかった	213(15.9)
回答者数	1,336(100.0)

表18 学校内のクラブ活動等の
課外活動への参加状況

はい	184(13.8)
いいえ	483(36.2)
学内に課外活動なし	646(48.4)
無回答	23(1.7)
合計	1,336(100.0)

む「出身准看護婦学校の先生」48.6%となっている（表17）。

3. 課外活動への参加状況（表18）

学内のクラブ活動，サークル活動等の課外活動への参加状況をみると，半数近くが，そのような活動は学内にはないと答えている。

Ⅲ 授業料および諸経費

1. 授業料（表19）

現在の授業料をどのようにまかなっているかをたずねたところ，「親が全額負担している」という人は39.1%にとどまった。次いで，「自分で働いて全額支払っている」という回答が32.9%である。

2. 生活費および教材費（表20）

授業料を除いた生活費および教材費は，月平均66,700円，自分で働いて得た収入は，月平均98,000円となっている。

表19 授業料はどのようにまかなっているか（複数回答）

親が全額負担している	522(39.1)
自分で働いて全額支払っている	440(32.9)
親の援助と，自分も一部支払っている	358(26.8)
勤務先の病・医院が払っている	93(7.0)
授業料はない	1(0.1)
その他	65(4.9)
回答者数	1,336(100.0)